

令和 5 年 2 月 8 日

司会：副校長

記録：高等部教頭

令和 4 年度第 3 回岡山県立東備支援学校コミュニティ・スクール運営委員会記録議事録

1 校長挨拶

今年度の活動のお礼を伝えた。

2 学校評価、本年度の進路について

初めに、学校から、次の説明と報告を行った。

- ・学校経営目標の実現に向けた具体的な取組とその評価
- ・学校評価アンケートの数値から読み取れる現状分析と今後の改善案
- ・高等部 3 年生の卒業後の進路先と、本年度の本校進路指導について

その後、運営委員の皆様から、ご意見をいただいた。主なものは、次のとおりである。

- 高評価及び低評価項目で、保護者と教職員でずれがある。そのことを分析し、今後につなげていくことが大切である。
- 保護者は学校のことを、連絡帳や担任との話で情報を得ている。それだけでは、いじめ対策への取組など、十分かかっていないことも多い。そのために、ずれが生じていると思う。進路指導は、より良いものとなるよう改善を行ってほしい。
- 高等部の現場実習で、保護者が良いと思っても、実際には空さがなく入れない事例もある。進路指導で、事業所と学校、保護者が連携して、より良い進路情報の提供を行うことが必要である。
- 進路指導は、高等部からでは間に合わない。高等部になったら、何とかしてくれると思っは駄目である。小学部から高等部まで一貫した進路指導を充実させてほしい。また、進路について、紙に書いたものを見ても、理解できない保護者はいらる。分かりやすい進路情報の提供を行うためにも、今後、私たちコミュニティ・スクール運営委員も協力するので、より良い進路指導を行っていきましょう。

今後、進路指導主事を中心に、小学部から高等部まで一貫した進路指導体制や取組を見直し、保護者への分かりやすい進路情報の伝え方の工夫を行い、教員の進路指導力の向上におけた取組を行っていく必要がある。また、コミュニティ・スクール運営委員と連携した進路指導の取組も考えていきたい。

3 学校の取組（協働活動）について説明

各班の取組について、主幹教諭が動画・映像を示しながら報告した。

4 グループ協議

各班に分かれて、本年度の活動の総括と来年度の取組について協議した。

5 協議報告及び意見交換

(1) ジョブ班より

地域の方や事業所には体験学習や地域型実習等でお世話になっており、コミュニティ・スクールが始まって、継続して協力いただいている。今後も継続して活動したい。また、学校では年間の指導計画を整理したい。

(2) 街並み班より

高等部の実習地の使用は、災害の面から点検し、検討する必要がある。また、利便性の面からも、学校北側の土地を農地として利用することを提案する。街並み班は、地域の方々としっかりつながって、地域も学校も盛り上げるような取り組みができればよい。

(3) 子ども班より

各学部で様々な体験を行うことができた。日常生活につながる活動、人と関わる活動、社会と関わる活動など発達段階に応じて計画・実施できた。また、生徒が企画・運営に関わるものもあり、子どもの主体的な学びにもつながっている。

(4) 福祉班より

ひまわり教室、なんでも相談会などを行ったが、参加メンバーがほぼ決まっている状況である。教員からもしっかり呼びかけをし、参加者を開拓したい。今後は、サポートブック研修や年金制度の研修などを計画している。地域で暮らす子どもたちのことを知ってもらうことは大切なので、教員が出かけて講話をし、情報発信していきたい。

(5) 意見等

- ・子どもたちも地域の方もとても良い表情で活動できているのが良い。
- ・子どもの意思決定支援を意識することが大切である。本人がどうしたいのかという気持ちをサポートしていく。
- ・教員の講話は対象人数や場所に関わらず、できるところは行っていきたい。要望があれば知らせてほしい。

6 諸連絡

来年度第1回、第2回、第3回、コミュニティ・スクール運営委員会の予定を連絡した。

7 会長挨拶

今後、学校、保護者、地域・関係機関が連携し、コミュニティ・スクールをさらに充実させていきたい等の、前向きな挨拶をいただいた。